

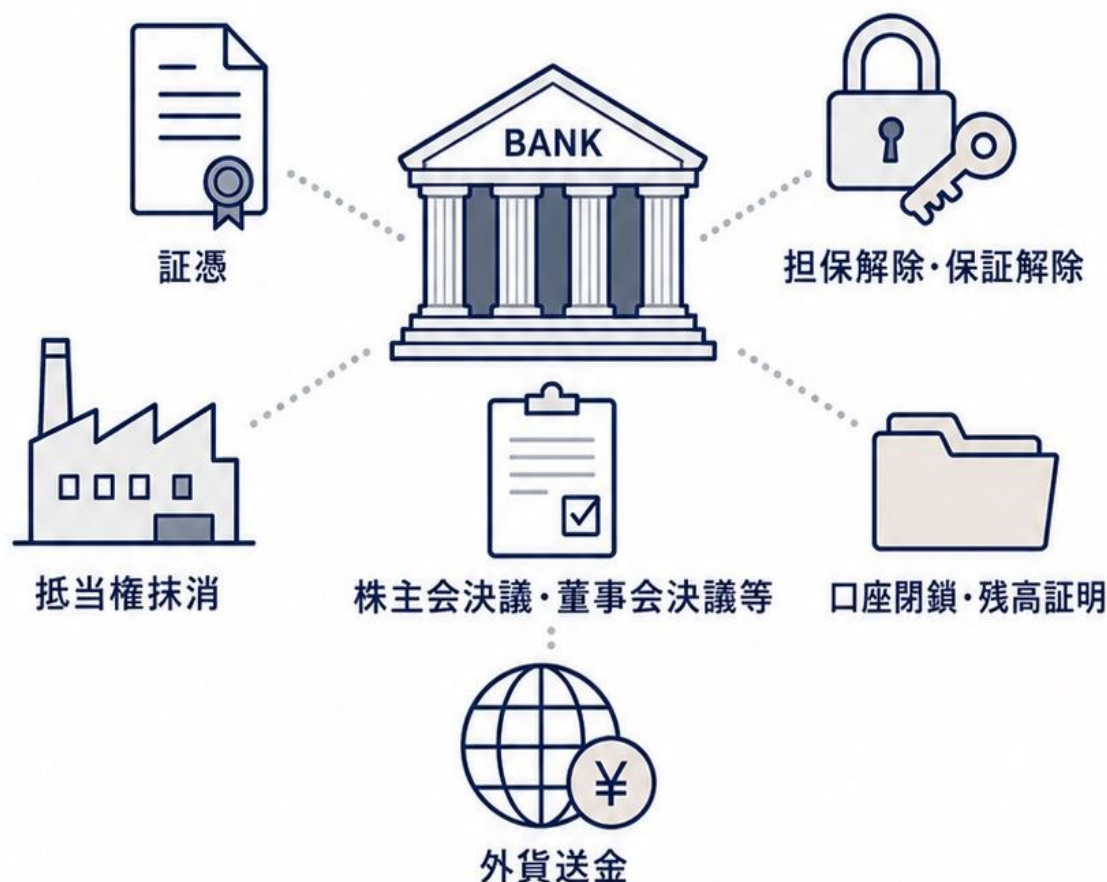
銀行・担保編

銀行対応は、資金ではなく解除と証憑で終わる

撤退・清算では、借入を返済しただけで銀行対応が終わるとは限りません
担保解除、保証解除、抵当権抹消、口座閉鎖、残高証明、外貨送金、
株主会決議・董事会決議等、最後に確認が必要になる事項があります



お金を返しても、解除と証憑が残る



銀行が関わる主な場面

主役は、融資・担保・保証のある会社です

① 融資・担保・保証がある場合

- 借入残高
- 担保解除
- 保証解除
- 抵当権抹消
- 口座閉鎖
- 外貨送金



撤退・清算では、銀行対応が最後まで残ることがあります

② 借入がなくても銀行との関係が残る場合

- 銀行口座
- 残高証明
- 外貨口座
- 資金移動
- 清算分配



借入がなくても、口座や送金、証憑の整理が必要になることがあります



また、銀行が取引先から撤退・整理に関する相談を受ける場面では、必要に応じて専門家や現場対応会社につなぐ入口になることもあります



銀行との関係は、借入だけで終わらない

銀行・担保マップ

銀行対応は、資金・借入・担保・証憑に分かれる



！ 銀行未整理は、清算・資産処分・登記抹消に連鎖する

地雷①

返済完了と担保解除は別

借入を返しても、担保は自動では消えない

借入を返済しても、担保解除や抵当権抹消が完了していなければ、
資産処分や清算手続きに影響することがあります

銀行の解除書類、対象資産に応じた登記・公示機関での抹消手続き、
社内決裁資料などを確認しておく必要があります

✓ 確認したいこと

- ✓ 借入残高
- ✓ 返済予定
- ✓ 担保設定の有無
- ✓ 解除条件
- ✓ 銀行解除書類
- ✓ 対象資産に応じた
登記・公示機関での抹消手続き
- ✓ 登記・公示状況

返済

解除書類

抹消

資産処分



借入を返済

銀行から
解除書類を取得登記・公示機関で
抵当権を抹消資産処分や
清算手続きへ

返済しただけでは、担保は消えない

地雷②

親会社保証・関連会社保証が残る

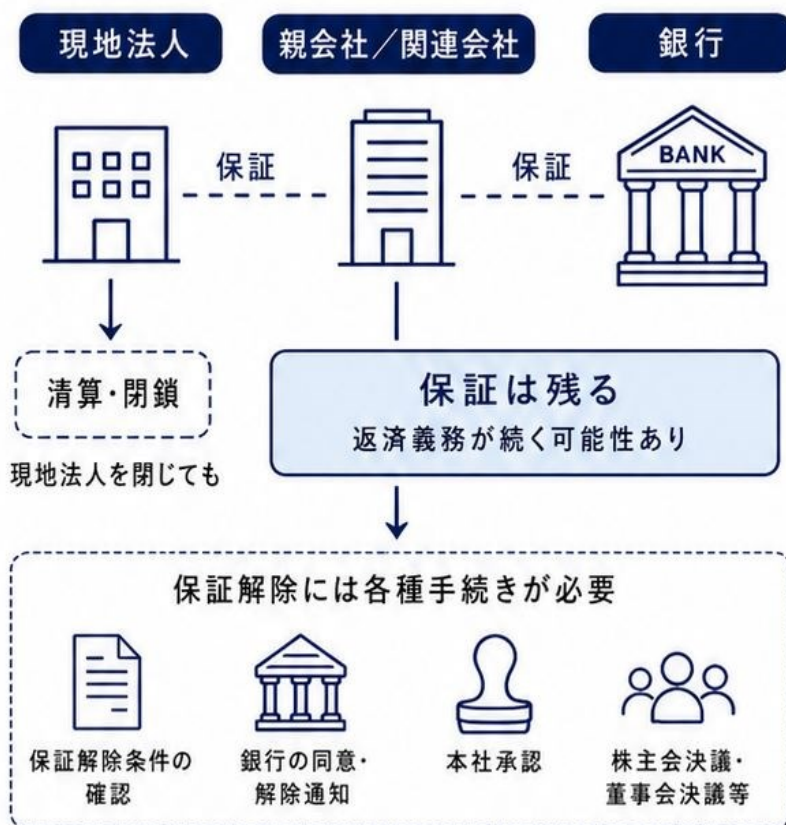
現地法人を閉じても、保証が残ることがある

現地法人の借入に親会社保証や関連会社保証が付いている場合、清算だけでは終わらないことがあります

保証契約、保証解除条件、銀行同意、本社承認、株主会決議・董事会決議等の確認が必要になります

✓ 確認したいこと

- ✓ 親会社保証の有無
- ✓ 関連会社保証の有無
- ✓ 保証契約書
- ✓ 保証解除条件
- ✓ 銀行の解除通知
- ✓ 本社承認資料
- ✓ 株主会決議・董事会決議等



現地法人の整理と、保証解除は別に確認する

地雷③

担保付き資産を処分できない

土地・建物・設備は、担保の有無を先に見る

工場、土地使用权、建物、主要設備に担保が付いている場合、売却、移転、廃棄、原状回復の前に銀行同意や解除手続きが必要になることがあります。現場では動かせる資産に見えても、書類上は制限が残っている場合があります。

✓ 確認したいこと

- ✓ 担保対象資産
- ✓ 固定資産台帳との一致
- ✓ 現物確認
- ✓ 登記・登録状況
- ✓ 銀行同意の要否
- ✓ 処分可能時期
- ✓ 解除後の処分方針

担保が付いている主な資産の例



土地使用权



建物・構築物



機械・設備

処分までの基本プロセス

担保確認



資産に担保が
付いているかを確認

銀行同意・解除



銀行の同意取得と
担保解除手続きを実施

処分判断



解除完了後に、
売却・移転・廃棄等の
処分を判断・実行



動かせる資産でも、担保があれば自由には動かせない

地雷④

口座閉鎖が最後まで残る

口座は、会社の最後の出口に残る

銀行口座は、残高をゼロにすればすぐ閉鎖できるとは限りません。

税務清算、未払金、社員補償、発票、外貨、残高証明、清算報告などにつながるため、閉鎖の順番を確認する必要があります。

✓ 確認したいこと

- ✓ 基本口座
- ✓ 一般口座
- ✓ 外貨口座
- ✓ 残高証明
- ✓ 未払金
- ✓ 税務清算との関係
- ✓ 口座閉鎖手続き
- ✓ 法定代表者・印鑑・証照の要否

口座閉鎖に関わる主な項目（つながり）



口座閉鎖は、清算の最後に残りやすい

地雷⑤

外貨・越境送金が詰まる

お金が残っていても、動かせるとは限らない

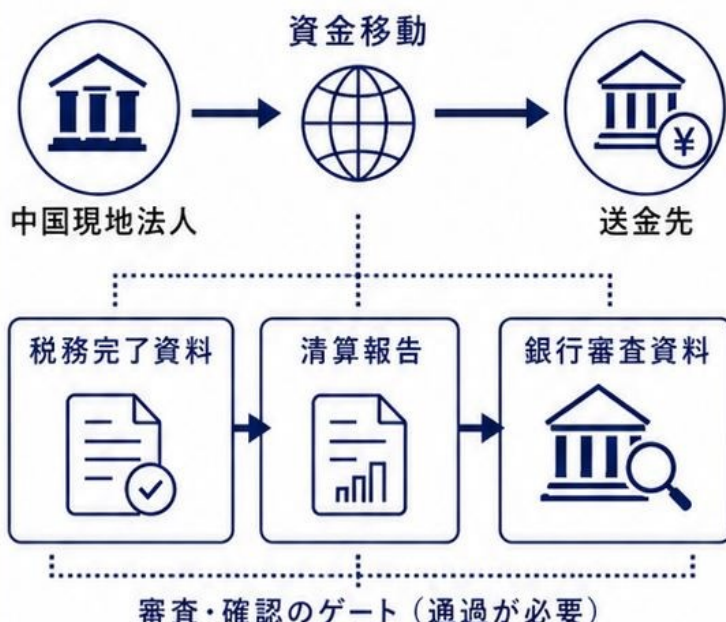
清算後の資金移動、外貨送金、清算分配では、税務完了資料、清算報告、外貨管理に関する手続き、銀行審査資料などが必要になることがあります

残高があることと、資金を動かせることは別です

✓ 確認したいこと

- ✓ 外貨口座の有無
- ✓ 資金移動の目的
- ✓ 送金先
- ✓ 税務完了資料
- ✓ 清算分配資料
- ✓ 外貨管理手続き・銀行審査資料
- ✓ 会計士・税務との連携

資金移動の流れと主な審査ポイント



資金は、残高ではなく動かせる根拠で決まる

地雷⑥

銀行に提出する資料が揃わない

最後に書類探しになる

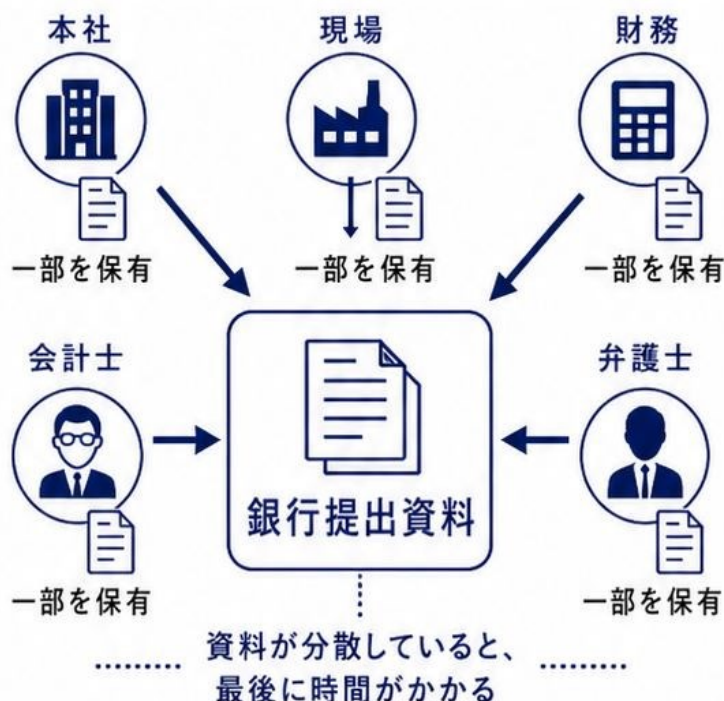
銀行対応では、借入契約書、担保契約書、保証契約書、返済証明、解除通知、株主会決議・董事会決議等、印鑑、法定代表者資料、税務清算資料などが必要になることがあります

本社、現場、財務、会計士、弁護士で資料が分散していると、最後に時間がかかります

✓ 確認したいこと

- ✓ 借入契約書
- ✓ 担保契約書
- ✓ 保証契約書
- ✓ 返済証明
- ✓ 解除通知
- ✓ 株主会決議・董事会決議等
- ✓ 会社印鑑
- ✓ 法定代表者資料
- ✓ 税務清算資料
- ✓ 清算報告

銀行提出資料の所在(例)



銀行対応は、最後に証憑整理になる

地雷⑦

銀行・会計・法務・現場の 順番がずれる

順番を間違えると、終わった作業が戻ってくる

銀行対応は、会計・税務・法務・現場処分と順番が絡みます

順番を誤ると、後工程で手戻りになることがあります

整理する流れ



順番を間違えやすい例

- ✕ 担保確認前に資産を処分
- ✕ 税務清算前に資金を移動
- ✕ 未払金整理前に口座を閉鎖



銀行対応は、単独ではなく清算全体の順番で見る

地雷⑧

撤退前に確認すべきこと

銀行資料は、撤退前に棚卸しておく

撤退前には、借入、担保、保証、口座、外貨、提出資料の所在を確認しておくことが重要です。後から探すほど、清算、資産処分、登記抹消の手戻りが大きくなります。

① 借入・担保



- ☐ 借入残高を確認しているか
- ☐ 担保設定の有無を確認しているか
- ☐ 親会社保証・関連会社保証を確認しているか
- ☐ 担保対象資産と現物が一致しているか
- ☐ 対象資産に応じた担保・質権等の解除要否を確認しているか

② 口座・外貨



- ☐ 口座一覧を整理しているか
- ☐ 外貨口座の有無を確認しているか
- ☐ 残高証明の取得時期を確認しているか

③ 資料・連携



- ☐ 銀行提出資料の所在を把握しているか
- ☐ 会計士・弁護士・銀行との役割分担を確認しているか



撤退後に探す銀行資料は、撤退前に棚卸しておく

役割分担と連携

銀行・担保は、現場だけでも銀行だけでも終わらない

銀行・担保の整理は、銀行、本社・財務、会計士・税務、現場実務が連携して進める必要があります。

最後に慌てないためには、誰が何を確認するかを早めに分けておくことが重要です。



銀行・担保は、最後に慌てるものではなく、最初に棚卸しておくものです